

令和4年度事業計画

○ 現状・課題

県内における観光需要は、一昨年1月からの感染が広がり始めた新型コロナウイルス感染状況の影響により大きく落ち込みました。また、昨年夏の第5波以降の感染者の減少の中で県の需要喚起策等により一時は回復しつつありましたが、オミクロン株による第6波以降の急激な感染拡大により厳しい状況が続いています。特に巨大市場である大都市圏や遠方からの観光需要の低迷に加え、インバウンドは消失し地域経済に大きく影響しています。一方で、観光は国の成長戦略の柱、地方創生の切り札であり、感染拡大防止と経済の回復の両立を実現する必要があると政府は考えており、今後、観光地や地域経済の維持・復興の実現のため、「新たなGo Toトラベル事業」等の観光需要喚起策を進めるものとしています。

このような中、当連盟では昨年度は県と連携し、観光業界が一丸となった感染防止やリバウンド防止対策を広く県民に呼びかける取組みのほか、地域周遊型のバスツアーに対する支援等を行いました。また、宿泊旅行喚起の一環としてコロナ禍を踏まえた朝・夜コンテンツ提案動画の視聴促進に向けた取り組みなどを行いました。

一方で、人流が発生する取組みについては、コロナ感染拡大により延期または中止等があり、今後も同様なことが懸念されることから、コロナ感染状況に応じた柔軟な取組みが必要であり、また、将来における人口減少を見据えながらの持続可能な観光による地域経済活性化が重要と考えられます。

○ 基本方針

基本事業の「情報収集・発信事業」、「観光客誘致対策事業」、「観光開発・啓発・研修事業」及び「観光物品販売事業」の中で課題に対し柔軟に取り組みます。また、会員組織を活用しながら県をはじめ関係機関と連携した事業展開及び事業拡充に務めます。

特に、「安心・安全な旅の推進」、「質を高めた観光コンテンツの整備・デジタル発信」、「学びの旅に変化する教育旅行の誘致強化」及び「連携事業の推進」を主眼に置き各種事業に取り組みます。その他、新たな観光商品づくりの推進や将来を見据えたシステム構築等について検討します。また、本年は県制150年の節目の年であることから県が進める記念事業等を推進します。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業活動の自粛等により厳しい経営環境を強いられている状況を踏まえ、一昨年度、昨年度に引き続き県及び市町村の自治体を除く民間会員を対象に会費の免除・減免措置を行います。

なお、当連盟は、全県域にわたる唯一の官民一体となった会員組織による公益法人として各種事業を推進し観光による地域社会の発展を目指します。

○ 基本事業

情報収集・発信事業
～あらゆる情報提供のニーズに対応するために！～

県内の観光情報を広く収集し、各種資料・ホームページ等において観光資源を整備し、一般消費者をはじめ企業・団体等が行うイベント等において活用してもらい強力に観光情報を発信する。

観光客誘致対策事業
～交流人口の拡大を目指すために！～

観光を取り巻く社会情勢や観光動向及び観光ニーズを捉え、会員及び各種関連団体等と連携し効果的な取り組みにより観光客の誘致を図る。

観光開発・啓発・研修事業
～観光地域づくりを推進するために！～

地域と連携し観光資源を磨き上げるとともに地域が主体的に実施する観光客受入体制づくりや観光人材育成に対し支援する。

観光物品販売事業（収益事業）
～公益事業を支えるために！～

観光PRキャラクターグッズ等の商品を開発し、会員の協力を得て販売することで公益事業を支える。

○ 課題事項に対する取り組みの方向性

先行きが見通しにくいコロナ感染状況による影響を軽減する柔軟な事業体制により取り組むとともに、ウィズ・アフターコロナ及び将来に向けての持続可能な観光による地域経済活性化の推進



重点的な取り組み	ポイント
安心な旅の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光事業者連携による感染対策の見える化及び安心な旅行行動の啓蒙 ● コロナ禍を踏まえた新たな旅コンテンツの提案による旅行喚起及び平日旅行の推進 ● コロナ感染状況に応じた柔軟で臨機な対応としてのデジタルの活用
質を高めた観光コンテンツの整備・デジタル発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 本県ならではの質の高い「魅力ある広域周遊プラン」、地域に呼び込む「各種コンテンツ」等の磨き上げ ● 魅力的な映像（動画・写真）コンテンツの拡充 ● 地域との連携による滞在型コンテンツの推進・SNSを活用した情報集約及び魅力的な映像発信 ● デジタルマーケティングの推進（※）
コロナで変化する教育旅行の誘致強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 震災・防災・減災学習等、特徴あるプログラムによる教育旅行誘致活動 ● みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターの運営によるSDGs・探究学習プログラムのコーディネート強化 ● 受入事業者間ネットワーク及び受入プログラムの拡充
連携事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 県制150年記念 観光振興事業の推進 ● 会員交流等による新しい観光商品づくりの推進支援 ● 量から質への変化等、将来を見据えた旅行者満足度向上への取り組み等の検討

※ デジタルマーケティングの推進について

宿泊実績やアクセス解析等に基づき、ウェブコンテンツを整備し、デジタル広告配信により宣伝を効果的に実施しウェブコンテンツ及びホームページの閲覧を高めることによる誘客促進の取り組み。

1 情報収集・発信事業

県内の観光情報を広く収集し、各種資料・ホームページ等において観光資源を整備し、一般消費者をはじめ企業・団体等が行うイベント等において活用してもらい強力で観光情報を発信する。

特に、県制150年の節目の年であることから歴史的観光資源に着目した取り組みを行う。また、各種観光コンテンツのデジタル化を推進し、SNS等を活用し効果的に発信する。

(1) 情報発信資料整備事業

幅広い観光客層のニーズに応じるとともに各種イベントでの活用及び観光資料の提供依頼に広く対応するため、次の資料を発行する。また併せてデジタル化を図る。

① 観光ガイドブック（ウェルカムみやぎ観光ガイドブック）

地域における取り組み等、観光資源の掘り起こしや観光ニーズに対応する情報及び旅行における基本データを網羅した着地型のガイドブックを関係者の協力・広告協賛を得て発行する。

3月発行 発行部数／各 50,000部 PDFデータとしてホームページに掲載

② イベント観光情報誌（みやぎEVENT JOY）

祭りやイベント等の旬の情報を広く紹介するため、関係者の協力・広告協賛を得て発行する。

発行部数／年6回 延べ300,000部 PDFデータとしてホームページに掲載

③ 観光マップ（みやぎ旅まっぷ）

観光地図を主体に観光資源を広く一般に紹介するため発行する。

3月発行 150,000部

④ 観光カレンダーの発行

本県観光の認知を高めるため、県外事務所等を通じ企業・団体等に配付するとともに、広く一般に有償で配付する。

11月発行 1,500部

【ポイント】

- ・ウェブサイトに関連する構成による効果的な情報発信【強化】
- ・観光ニーズを捉えたテーマ等による観光資源の紹介及び新たな観光情報の発信
- ・団体・企業等からの広告協賛等による効果的な整備

(2) ホームページ運営管理事業

分析に基づき評価が高い観光コンテンツ等を整備し、アクセス数が高いページとの連動により効果的に発信を行う。また、会員等の取り組みについての発信の場として会員の活用を促す。また、各種SNSを設置・発信しホームページアクセス数を高める運営に努める。

また、ホームページ解析ツール及び宿泊実績データの分析を行い効果的な情報発信及び誘客促進を図るため人気コンテンツや宿泊需要が高い地域等の把握に努める。

① 公式ホームページ「宮城まるごと探訪」

春夏秋冬の観光・旅行需要期を捉えたコンテンツの整備を行うとともに、ニーズや評価が高いコンテンツをウェブ上で発信する。また、英語、繁体、簡体、ハングルの多言語版と国内版を連携し、ホームページ運営の効率化を図る。

② 公式フェイスブックページ

当連盟の活動内容及びホームページと連携した各地のイベント情報の発信等

③ 公式インスタグラム「triptomiyagi」

各種キャンペーン等との連携による情報の発信等

【ポイント】

- ・ 新型コロナ対策実施施設の集約・発信及びコロナ禍における旅行行動の啓蒙・発信
- ・ 分析に基づく観光等需要期を捉えたニーズや評価が高いコンテンツの発信 **【重点】**
- ・ 魅力的な観光動画等コンテンツ発信によるホームページ全体の閲覧促進 **【重点】**
- ・ SNSユーザーと連携によるグルメコンテンツの発信 **【新規】**

(3) 各種情報収集・提供事業

県内の各種観光資料及びデータを会員等の協力により収集し、関係機関及びマスコミ等に情報を提供する。また、各種情報発信資料については関係機関が主体となる各種イベント・コンベンション及び観光案内所等に積極的に提供し広く一般に配付する。

【ポイント】

- ・ 情報収集力を高めた取り組みによる集約情報の各事業における効果的な活用 **【強化】**

(4) 観光情報発信センター・デジタルフォトライブラリー運営事業（県受託業務）

宮城県庁舎1階の観光インフォメーションコーナーにおいて観光問合せ対応等、本県観光の案内全般を行う。窓口をはじめ電話やメール等での問い合わせや県全域の観光資料等を提供する。また、デジタルフォトライブラリーの運営をサポートする。

2 観光客誘致対策事業

観光を取り巻く社会情勢や観光動向及び観光ニーズを捉え、会員及び各種関連団体等と連携し効果的な取り組みにより観光客の誘致を図る。

特に、県の委託事業等を積極的に受け入れ事業拡充を図り、コロナ対策等に向けて関係団体が一体となった事業推進に努める。

(1) 観光客誘致促進事業

コロナ禍を踏まえ安心な旅を推進するとともに、コロナウイルス感染状況に応じた柔軟で臨機な対応による事業展開に務める。

① 教育旅行等の誘致促進（県受託業務）

みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターにおいて関係機関及び受入施設等との連携により教育旅行誘致活動を推進する。

【ポイント】

- ・北海道、東京、愛知、大阪、福岡等県内外でのプロモーションへの参加
- ・本県の特徴を捉えたプログラムの利用促進コーディネート・マッチングの拡充 **【重点】**
- ・プログラムの開発及び専用ガイドブック・ウェブサイトの拡充・発信 **【重点】**
- ・教育旅行受入事業者間ネットワークによる連携拡充

② 滞在型観光の推進

宿泊観光客の誘致や地域での滞在時間を増やす取り組みを推進するなど、具体的な観光客の誘致促進に努める。

【ポイント】

- ・地域との連携による宮城オルレの推進（県受託業務） **【重点】**
- ・県制150年記念事業 観光キャンペーン事業との連携 **【新規】**
- ・コロナ禍を踏まえた新しい旅の動画視聴による平日旅行の推進 **【重点】**
- ・仙台空港就航都市圏からの誘客促進に向けた支援（※）

③ 新しい観光商品づくり推進支援 **【重点】**

旅行商品、体験観光コンテンツや誘客イベント等の観光消費額を高める新しい観光商品づくりに向けた会員等事業者の取り組みを支援する。

④ 外国人観光客の誘致促進

県及び関係機関との連携による効果的な外国人観光客誘致に向けた取り組みを推進する。

【ポイント】

- ・多言語ホームページ及びインフルエンサー支援（※活用）による情報発信
- ・国内における海外の学校との交流活動に対する支援
- ・観光案内所のインバウンド対応に向けたスキルアップの取り組み
- ・関係機関のインバウンド受入環境整備の支援メニュー及び人材育成セミナー等開催の周知

(2) 共同事業推進事業

各種団体等が実施する観光事業等と連携し効果的な事業展開を行うものとする。

① 各種観光展等への参加

県及び関係機関と連携し各種観光展等に参加し観光資源のPRに努める。

- ・県の物産と観光展（横浜市、広島市、名古屋市、大阪市、千葉市）
- ・日本観光振興協会連携による観光展（首都圏）
- ・各種イベント等への出展

② 広域圏事業への支援（県補助業務含む）

県内外の広域圏団体等において行われる観光客誘致宣伝事業又は観光客受入体制強化事業等に対し支援する。

- ・ せんだい・宮城フィルムコミッション事業
- ・ みやぎおかみ会事業
- ・ 仙台まるごとパス運営協議会事業
- ・ 楽天イーグルス・マイチーム協議会事業
- ・ 日本観光振興協会全国観光振興事業
- ・ 東北観光推進機構事業
- ・ 情報発信センター（札幌）事業
- ・ 大阪での観光情報提供事業

③ 観光客受入施設との共同事業

- ・ 観光キャラバン・マスコミ招請・旅行会社現地研修

旅行会社大手6社の旅ホ連で組織する宮城県観光誘致協議会と共同で観光キャンペーンを実施するとともにマスコミの招請や旅行会社社員の現地研修会を行いみやぎの観光PRに努める。

- ・ 冬季誘客共同宣伝

スキー客の誘致促進を図るため、各スキー場及び関係団体等と一体となり宣伝強化を図る。

【ポイント】

- ・ 各関係企業・団体等との連携による効果的な事業展開

3 観光開発・啓発・研修事業

地域と連携し観光資源を磨き上げるとともに地域が主体的に実施する観光客受入体制づくりや観光人材育成に対し支援する。特に、魅力ある観光コンテンツ等を整備に努める。（県補助業務含む）

（1）地域観光開発推進事業

本県の観光魅力の向上を図るため、地域における観光資源の開発を推進するとともに地域観光資源を組み合わせる等により広域観光コンテンツとして整備する。

① 観光資源の磨き上げ

観光地域づくりを推進するため、地域事業者等との連携により質の高いモデルプランの整備を推進する。

【ポイント】

- ・ 本県ならではの「魅力ある観光モデルプラン」、「体験型観光」等の各種コンテンツの整備 **【重点】**
- ・ 魅力的な映像（動画・写真）コンテンツの整備 **【重点】**
- ・ 地域による観光客受入体制づくりの活動等に対する支援

② 地域イベント開発の推進

各地域で行なわれる行・催事の振興を図るため、協賛・後援を行う。

(2) ホスピタリティー推進事業

おもてなしの向上及び観光みやぎのイメージアップを図るため、次の事業を実施する。

① 人材育成の推進

観光事業に対するおもてなし等の意識啓発及び先進の観光事業等を推進するため、地域又は業界団体等と共同で研修会等を実施する。また、東北運輸局が主体となる東北地方観光案内所協議会の構成員として観光案内所のスキルアップに努める。

【ポイント】

- ・観光案内所のインバウンド対応に向けたスキルアップの取り組み（再掲）
- ・関係機関のインバウンド受入環境整備の支援メニュー及び人材育成セミナー等開催の周知（再掲）

② アクセスポイントでのおもてなしの推進

- ・仙台空港での電飾看板・パンフレットラックの設置

(3) 仙台・宮城大型観光キャンペーン対応事業

仙台・宮城大型観光キャンペーン事業を効果的に推進することから仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会に職員を派遣する。

(4) 観光功労者の表彰

観光事業の振興の上で顕著な業績があると認められる個人・団体及び先進的な観光振興事業を表彰し、後進の範とすることにより、観光事業全般の振興発展に努める。

4 観光物品販売事業 ※収益事業

公益事業を推進するための財源を確保する観点から、仙台・宮城観光PRキャラクター「むすび丸」グッズの一般有償配付を積極的に実施する。

【ポイント】

- ・新商品の開発検討

5 企画調査事業

観光関係者の意見・要望を伺いながらより良い事業を推進するとともに、観光振興に関する調査及び整備に関する事業を行う。

(1) 企画専門委員会

重点事業等について協議するため、地域及び各種業界で構成する企画専門委員会を必要に応じ開催する。

(2) 観光振興調査・整備事業

デジタル観光コンテンツ等による誘客促進を効果的に推進するため、ホームページや宿泊の利用状況を調査・整備する。

令和4年度事業予定一覧

時期	事業	実施場所等
1 情報収集・発信事業		
通年	観光情報発信センターの運営	県庁1階
通年	ホームページでの情報発信 (季節に応じたデジタル観光コンテンツの発信)	全国
通年	SNSを活用した情報発信	全国
奇数月	みやぎEVENT JOYの発行・配付	観光案内所、マスコミ、 旅行会社等
4月～	県観光マップの発行・配付	観光案内所、各種イベン ト
4月～	ウェルカムみやぎ観光ガイドブックの発行・配付	旅行会社、観光案内所等
11月～	観光カレンダーの発行・配付	関係機関
2 観光客誘致対策事業		
通年	みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター(みや ぎ観光復興支援センター)の運営	県内
4月	県の物産と観光展(そごう横浜店)	横浜市
4月～随時	新しい観光商品づくり推進支援	国内
4月～随時	教育旅行受入プログラム検討会	県内
5月	教育旅行セミナー	福岡
5月～6月	教育旅行オンラインセミナー	県内、県外
6月	仙台市立中学校訪問	県内
7月	夏の海と山観光展	首都圏
7月	教育旅行セミナー	札幌
7月	青森・宮城の物産と観光展(東急東横)	東京都渋谷区
7月	教育旅行セミナー	東京
8月	教育旅行セミナー	大阪
9月	ツーリズムEXPOジャパン	東京
11月	県の物産と観光展(そごう広島店)	広島市
11月～3月	冬季誘客共同宣伝	首都圏、県内
11月	ITF(国際観光展)	海外(台湾)
12月	東北プロモーション	海外(台湾)
12月	教育旅行・体験学習説明会	札幌

1月	県の観光と物産展（名鉄百貨店）	名古屋市
3月	県の物産と観光展（そごう千葉店）	千葉市
3月	大手旅行会社等への観光キャラバン	首都圏等
3 観光開発・啓発・研修事業		
通年	大型観光宣伝キャンペーン事業運営の支援	県内
通年	仙台空港での看板等掲出	県内
随時	観光資源の磨き上げ（各種コンテンツの整備）	県内
随時	地域による観光客受入体制づくり支援	県内
随時	人材育成おもてなし講習会	県内
随時	地域イベントの後援等	県内
随時	教育旅行等のお出迎え・お見送り	県内
6月	観光功労者の表彰	県内
4 観光物品販売事業		
随時	観光PRキャラクターグッズ等の販売	県内ほか
5 企画調査事業		
随時	企画専門委員会（必要に応じ開催）	県内
随意	観光振興調査・整備	県内